

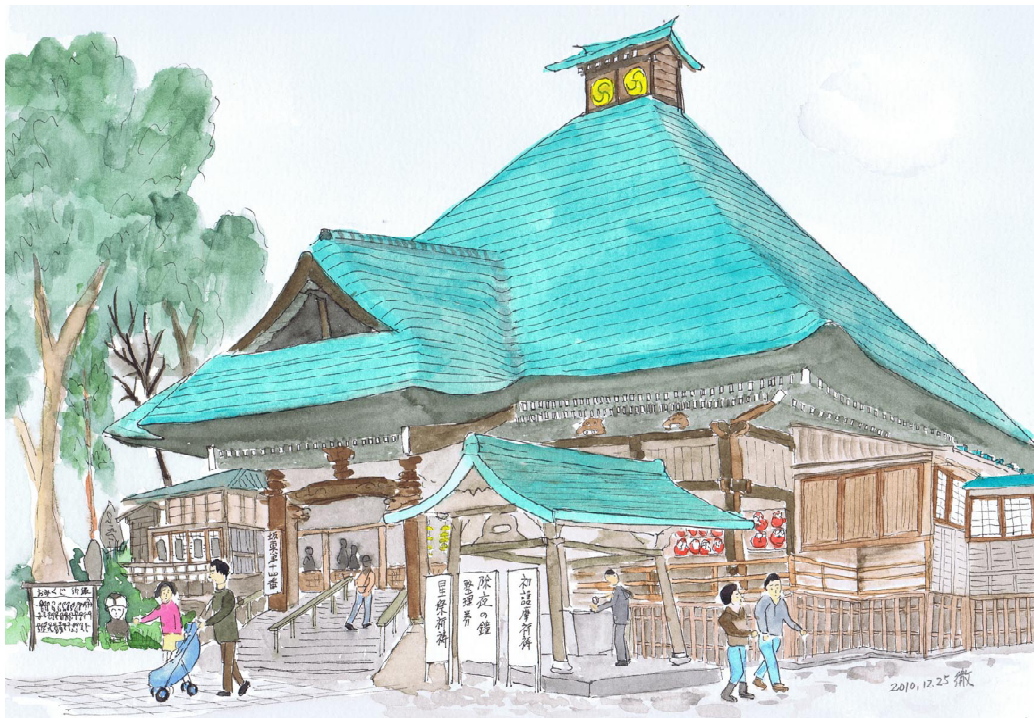
「中国は…」と一括りにするのは？

日曜ジジ通信のNo.40(10月31日)号で紹介した蔵王のペンションあっぷるで香港から来た中国人の若い夫妻に会いました。ご両人とも相撲取り位の大柄。その二人は福島空港に着いたそうで、レンタカーで青森まで廻るそうです。北京辺りの中国人は日本人と同じか、細身、小柄…と云うイメージですが、中国は広い国。大柄な民族の出身なのか「中国人」と云っても色々な人がいると思いました。

彼らは既に何回か日本に来ていて「ビルが建ち並ぶ香港より、日本の自然が良い」と云い、紙に「秘湯」と書いて「これが良い。蔵王の前日は乳頭温泉に泊まった。混浴露天風呂が良かつ

た。行ったか？」小樽ではウニが二重に入っているウニ丼が4千円で良かった。家内は二杯も食べた。あなたは食べたか？」と話が尽きません。会話は英語でしたが、土地や物の名前はすぐ漢字を書きます。香港は中国本土と違い古い字体を使っていたので、彼らが漢字で書くとすぐ分かります。

尖閣諸島を巡って「中国は…」と一括りで書き下ろす人がいますが、中国と云っても色々。一括りで云うのではなく「中国の尖閣諸島についての主張は…」など、個別に云わないといけなかったと思いますが、皆さんはどう思われますか？



新年おめでとうございます

今年も「日曜ジジ通信」をよろしくお願ひします。
なお、来週はお休みです。

くみよつじ 弘明寺観音

弘明寺の本堂は大晦日から元旦への準備万端。お堂の中には願掛けのだるまが並べられています。除夜の鐘をつく希望者募集の看板もありました。そして、今年最後のお参りに来る人が途切れません。

この瑞應山蓮華院弘明寺は七三七年に行基が草庵を創り、一〇四四年に本堂が建てられたそうです。板東札所十四番の霊場で、白装束の巡礼の方が今も訪れています。